

気象経過は、5月16日と早い梅雨入りと6月の長い梅雨の中休みでしたが、北の高気圧の影響で気温は平年並み程度でありました。5月6月の日平均気温の積算は、1281℃(平年1269℃)と大差なく経過しております。日照時間は303h(平年357h)とやや少なくなっています。梅雨後半に前線活動が強まっても気温は平年並み～やや高めと見られ、日照も多少減少しても例年並みでしょう。但し、梅雨明けの遅速で気温・日照共に少し変化してきます。また、近年の台風は大型化やコース異常が見られるので対策を怠らないよう要注意です。

## 水 稲

### 早期・早植の仕上げと普通・晩植の穂づくり

#### ◆ 早期・早植稲

出穂は7月第6半旬(26～31日)と見込まれます。カメムシ類の防除時期は8月第2半旬(6～10日)頃です。水管理は、出穂後～落水期まで間断灌漑(水が無くなれば入れる)が望ましいです。減水して乾くと稔実(実入り)が不十分になります。落水は穂揃いから25日頃となります。刈取は穂揃いから30日頃からとなります。秋作業の農機具の点検は済んでいますか？まだの場合は早急に済ませましょう。鳥獣害の発生する地区では穂揃期までに対策の実行が必要です。

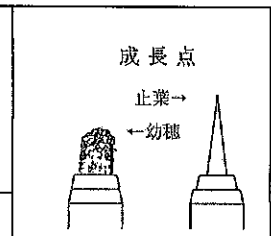
#### ◆ 普通・晩植稲

穂肥の時期は、ほぼ平年並みでしょう。ヒノヒカリの幼穂形成期(穂の素が出来る時期)は、右のとおりと推定されます。幼穂の確認は、畦から2m以上内部の平均的に生育している稲の最長稈(株の葉先が高い葉)の生長点を開いて、右図を参考に幼穂を確認して穂肥を施しましょう。

#### 幼穂形成期の見込み

6月1日植え	8月2日頃
6月10日植え	8月6日頃
6月15日植え	8月9日頃

図 成長点の幼穂と止葉→



図右側の止葉の時に穂肥を施用すると地際の節間が伸びて収穫までに倒れやすくなります。左側の穂の素が5～10mmの頃に施すのが適期です。遅れると徐々に籾数が減少します。

穂肥は水がある状態で施してください。その後の水管理は間断灌漑を原則として、最も生育量の大きい穂孕期～出穂期は湛水状態を保ちます。穂肥後7から10日頃に水田周囲の草刈りを行い、斑点米カメムシ類を遠ざけます。出穂は穂肥から21日位後の8月下旬～9月始めの見込みです。カメムシ防除の準備も整えましょう。

## 野 菜

### 夏野菜の秋採り管理と秋野菜の作付け準備

◆ 土壌消毒の実施 土壌伝染病害の発生農地で8月に作付けしない場合は、太陽熱土壌消毒を行うと土壌伝染病害や雑草を減らすことが出来、連作障害対策としても有効です。これには、太陽熱消毒と還元型土壌消毒があり、後者の効果が高いとされています。それは後者が酸素の無い状態で消毒することにあります。このため、夏場だけではなく春秋の実施にも効果が見込まれます。

### ◎太陽熱土壤消毒

土づくり資材を施し出来るだけ深く耕耘・畝立て後、灌水チューブを敷設し透明被覆資材でマルチして大量に灌水して3週間以上消毒します。被覆を除去して、耕耘せずに、そのまま作付けします。

窒素肥料は消毒中の分解物で補給されるので極少量とし生育状況を見て追肥します。

### ◆夏野菜の収穫継続に向け

トウガラシ、ナスなどの果菜類で秋収穫を続けるために結果部位が高い位置に集中している場合は、8月中頃から樹勢回復と収量の確保に向け、追肥と主枝・側枝の切り戻しを行います。9月からの収穫を目標に管理を行うと棚上部の過繁茂を解消して、良品収穫と労力軽減が図れます。切り戻しが遅れると樹勢回復ができず逆効果となるので注意が必要です。

病害虫は、ハウスではコナジラミ類、アザミウマ類、うどんこ病に、露地ナスではオオタバコガ、ハスモンヨトウ、アズキノメイガ、アザミウマ類、ハダニ類、チャノホコリダニ、うどんこ病に、ネギではシロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、ネギハモグリガ、ハモグリガ、ネギアザミウマとえそ条斑病などに注意です。

### ◆秋野菜の作付け準備

キャベツの苗づくり、金時ニンジンの年内採りは、種播は8月上・中旬に行います。ニンジンの畑は土や堆肥の塊が無いよう十分耕し30cm程度の高畝とします。ハクサイのセルトレイ播種は8月下旬頃とし、いずれも適度の遮光と乾燥防止に寒冷紗等の被覆・灌水を適切に実施します。アブラナ科野菜の作付け予定地は土づくり耕耘

### ◎還元型土壤消毒

左記の太陽熱土壤消毒とほぼ同じですが、異なる点は、最初の耕耘時に米糠・フスマ・堆肥などの微生物のえさを200kg 鋤込んで、マルチ内部で発酵させ、酸素不足の還元状態にし、病原菌を死滅させる方法で、前者より低温でも効果があります。是非実施を計画してください。

の際にBM 糞 20kg または 礬砂 1kg/10a を施し、礬素欠乏を予防しましょう。花菜の育苗も遅れないよう品種と収穫時期から逆算して、年内採りは8月下旬～9月上旬に播種し定植に備えましょう。いずれも28℃以上の高温が続く期間は、寒冷紗・防虫ネットで被覆し害虫や高温乾燥・鳥害を防ぎましょう。また、地床育苗の場合はキシノミハムシの防除にダイアジノン粒剤5等を土壤混和します。このほか9月播種の秋野菜類の作付けに向けて、土づくり・耕耘・灌水・遮光資材等の準備を行いましょう。8月・9月は暑さが厳しくとも、その後の秋は短い傾向が予想されますので、作付けを遅らせると生育量不足のまま気温が低下することを意識する必要があります。

アブラナ科野菜の病害虫では、8月・9月はアブラムシ類、コナガ、ヨトウムシ類、ハスモンヨトウ、ダイコンシンクイムシ、カブラハバチ、べと病、白斑病などが多い時期です。防虫ネットの利用や農薬散布を発生初期に行い、防除回数・被害の低減を図ってください。防除農薬は本誌裏面に散布用殺虫剤の作物適用一覧を掲載していますので、参考にしてください。殺菌剤は9月号に掲載の予定です。

## 茶 樹

### 防暑・乾燥対策と深耕・土づくり準備

梅雨明けの後は高温・強日射と乾燥に備え高棚被覆園は遮光資材の筋掛けを実施してください。缺刈園では、2回の摘採を行い、養分蓄積が来ていませんので夏芽を健全に生育させ、樹勢回復と充実した夏芽に育て葉層の確保を図ることが翌年の一番茶生産のポイントとなります。

◆ 早ばつ対策 近年の経過から8月は35℃超えの高温が予想されます。干ばつ対策として、敷

藁・敷草等高温乾燥軽減対策とともに、水が有れば定期的な灌水を可能な限り実施しましょう。

◆ 病害虫対策 7月～9月はチャノドリヒメコバイとチャノキイロアザミウマの発生時期です。

特に、8月は気温が高く害虫の発育が早いので被害に繋がり易い時期です。数日間隔で茶園を見回り、ハダニ類、コカクモンハマキ等と合わせて早期発見に努め、発生初期の防除に努めてください。



9676	M E P	I:1B	スミチオン	乳													ワラシ類 アサギ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
8151他6件	ダイアジン	I:1B	ダイアジン	乳40	劇												ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
20798	知アゴシ	I:4A	ダントツ	水濁													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
18082・20791 23471	ピラントリン	I:3A	テルスター	水和													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
22910 24225	スビネトラム	I:5	チアアナ SC	(水和)													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
24010～8	スルホキサフロル	I:4C	トランスフォーム	フ													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
16758	エトフェンブラス	I:3A	トレボン	乳													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
18270				乳													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
22766～9 20614	イネキチカワMP	I:22A	トルネービス	DF													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
17733・34・35	アムハノシロ	I:1B	ノーモルト	乳													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
15438	アムハノシロ	I:3A・I:1B	ハクサツブ	水和													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
20818	トルネービス	I:21A・I:3B	ハチハチ	乳													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
18950・21666	カルタツブ	I:14	バダンSG	水濁													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
24069～70	プロネキチ	上未分類	アインセーブ	フ													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
20676	外キチフェノビド	I:18	アアルゴン	フ													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
21916・7	フルハシアゴシ	I:2B	フェニックス	顆粒水和													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
21388	ピリダリル	I:1UN	ブレオ	フ													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
22464・5・6・8	ケラシニエリロール	I:28	ブレバノン	フ5													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
19102・21610	ニチニチラム	I:4A	ベスタガード	水濁													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
23553・4 他9件	シタニシロロール	I:28	ベネビアOD	(水和)													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
20016	ルアエロ	I:15	マツチ	乳													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
20809 22410	ケラシニエリ	I:18	マトリック	フ													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
16714・5	フルシリネート	I:3A	マブリック	水和20	劇												ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
2280他10件	マラン	I:1B	マラソン	乳													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
22583	アセブリン	I:4A	モスビラン	水濁	劇												ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
20641・2	アセブリン	I:4A	モスビランSL	液	劇												ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
23187	ステロテトラマト	I:23	モベント	フ													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
24317～8	チケニエリロール	I:28	ヨーバル	フ													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
20863	メソミル	I:1A	ランネート45	DF													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
22870	チオンクラム	I:14	リーフガード	顆粒水和	劇												ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類
18999	ケラシニエリ	I:18	ロムダン	フ													ワラシ類 枯葉類 木屑類 木片類 マシクガシ類